

令和8年度大田原市  
予算(案)について

代表質問

新生クラブ

中川 雅之 議員



大田原市総合計画  
「おおたわら国造り  
プラン」について

**質問**…各種基金の目標基準額と今後の運用について伺います。

**答弁**…市民の生活を守り、大田原市を将来にわたり持続的に発展させ継続していくためには、安定的な自主財源の確保と一定規模以上の基金の蓄えが必要不可欠であり、ここ数年は財政調整基金の増しを図ってきました。その結果、令和3年度末の財政調整基金の残高は13億13

71万7千円で、標準財政規模に対する残高の割合は6・7%でしたが、令和7年度末残高は22億円から25億円程度になる見込みです。財政調整基金の目標規模については、標準財政規模の15%以上とし、約30億円程度までは積立てを行っていきたいと考えています。財政調整基金以外の基金については、目標基準は定めていませんが、公共施

設整備等基金や学校施設整備基金については、今後も公共施設個別施設計画等に基づく公共施設や学校施設の老朽化対策には多額の一般財源が必要となりますので、事業計画及び財源計画との整合性を図りながら、基金からの繰入れを行うとともに、各年度の収支状況などを見極め、積立てを行っていきたいと考えています。

**質問**…次期総合計画策定スケジュールについて伺います。

アリング等を実施しています。令和8年度は、基本構想及び前期基本計画の策定に向け、審議会及び策定委員会を随時開催しながら成案を取りまとめ、基本構想は12月議会への提出を予定、前期基本計画は3月の庁議で決定後、全員協議会で報告を予定しています。

**答弁**…大田原市総合計画策定基本方針に基づき、令和7年度は総合計画策定支援業務の業務委託、総合計画審議会及び総合計画策定委員会の設置、市の現状を把握するための基礎調査、市民意識調査及び市民ワークショップの実施、現行計画の事業実施状況に対する担当部局へのヒ

**質問**…総合計画審議会の内容について伺います。

**答弁**…総合計画審議会条例に基づいて設置される市長の諮問機関であり、委員は、栃木県職員、大田原商工会議所等の関係団体の代表または推薦者、市議会議員、大学教授等の有識者、市民公募委員となっており、20人で組織しています。第1回会議では、総合計画の概要、審議会の役割、今後のスケジュール等について確認いただきました。